



関西大学 総合情報学部 ってこんな学部!

01 総合情報学科

現代社会の様々な課題を、文系・理系という枠組みを超えて、情報という切り口から学ぶ

02 特徴的な教育プログラム

〈3つの系〉を履修の指針に、自分の学びをカスタマイズできる(P.09)

03 教育体制

情報学の広範な領域をカバーする教員陣が、学生一人一人の興味・関心に応える

04 学びの環境

地域連携プロジェクトや起業など夢追う学生たちの活動拠点リサーチ・コモンズが利用可能

05 スマートキャンパス

学生・教員・企業・地域が、リアルとバーチャルの壁を越えて、未来を共創するキャンパス

06 卒業後の進路

IT企業、広告・サービス、製造、金融、教育、行政など活躍のフィールドは多彩

総合情報学部の最新情報をチェックしよう!

学部ホームページ

教員の幅広い専門がわかる教員紹介、学生の学びと研究の場であるゼミの様子や研究内容、学生生活やキャンパスの様子など、総合情報学部の魅力と最新情報が満載です。



関大先生チャンネル

関西大学の教員が研究・教育活動について語る“知の動画アーカイブ”、それが「関大先生チャンネル」です。学部のさまざまな先生の講義を体験!



関西大学の最新情報をチェックしよう!

関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載! 社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。

関大 入試 検索



JRでのアクセス

JR京都線「高槻」駅(大阪・京都駅から共に約15分)または「摂津富田」駅下車、高槻市営バス*に乗り換え。

阪急電鉄でのアクセス

阪急京都線「高槻市」駅(大阪梅田・京都河原町駅から共に約20分)または「富田」駅下車後、JR「高槻」駅またはJR「摂津富田」駅まで徒歩移動(約5~10分)、高槻市営バス*に乗り換え。

*高槻市営バス

JR「高槻」駅から「関西大学」行に乗り換え、JR「摂津富田」駅からは「関西大学」「萩谷」「萩谷総合公園」行のいずれかに乗車し、キャンパス内のバス停「関西大学」下車(この間隔約20分)、「西の口(関大正門前)」では降りないでください。

総合情報学部

総合情報学科

FACULTY OF INFORMATICS



「情報」にアプローチする方法は十人十色。

文系・理系の枠を超えて、 自在な学びが広がる。

総合情報学部は、文系・理系という枠組みにとらわれず、人文・社会・自然科学分野を横断的に学べる文理融合型の学部です。広範な学問領域に及ぶ科目群から、各自の興味・関心に合わせて科目を選択することで、ますます複雑化してゆく情報社会のさまざまな課題を多面的に探究することができます。確かな情報フルエンシー(利活用能力)を備え、情報の本質を見通す能力と柔軟な発想力をもった人材を育成します。

Message

学部長からのメッセージ

学びと研究・創造のスマート キャンパスへようこそ!

総合情報学部は、学生と教員が共に学び、共に研究・創造していく学部です。その成果は国内外の学会で発表されているほか、グランフロント大阪でも展示されています。

高槻市や堺市と連携した研究活動もあります。その学びと研究・創造をより一層充実させるため、総合情報学部では今、「スマートキャンパス」構想を推し進めています。

その一つが、リサーチ・commonsの開設。ここは、データサイエンティストをめざす学生、企業や自治体と連携したプロジェクトに携わる学生、起業をめざす学生など、目的をもった学生たちの活動拠点となります。リモート授業に適した教室(ハイフレックス教室)や、デジタル技術を駆使して遠隔や対面といった参加形態に影響されない環境を実現する実験的教室(Global Smart Classroom)も設けられています。総合情報学部が誇る本格的な映像スタジオには最先端のVR/ARシステムが導入され、「MonoLab/総情工房」には3Dプリンターやレーザー加工機などが設置されています。

このような環境を生かすために大事なのが「学び」です。総合情報学部では、AIや機械学習などの情報科学、あるいはCGやVRなどの映像分野だけでなく、経済学、経営学、社会学、政治学、心理学、教育学など幅広い分野の講義や実習が提供されています。また、2023年には文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)」の認定を受けました。この教育プログラムは、「基幹科目(必修科目)6科目」と実習科目1科目で構成されており、卒業時には自動的に修了することとなります。

これらの授業を通して幅広い知識と技術を「学び」、どんどん実践的活動に結び付けてください。そして、それぞれの専門を追究してください。

総合情報学部長 名取 良太 教授

学部長と学部生による
紹介PV(約1分30秒)を
Check!



学部生編

教員の労働環境

ICTで先生の仕事は本当に減る？ 現場の「多忙感」をデータで可視化する

高校時代、夜遅くまで職員室に残る先生たちの姿を見て「ICTを使えばもっと負担を減らせるのでは？」と考えたことがこの研究のきっかけです。しかし、現役の高校教員へのアンケートや模擬授業を通じた検証から見てきたのは、予想とは異なる現実でした。確かに成績処理や連絡業務などは効率化され、時間は短縮されます。一方で、機器のトラブル対応や、操作に不慣れた同僚へのサポートなど、新たな業務が発生していることが判明しました。統計分析の結果から、ICTを積極的に活用している教員ほど、強い「多忙感」を感じている傾向が見られ、「効率化＝負担軽減」という単純な図式では語れない教育現場の複雑な課題が浮き彫りになりました。卒業後は私自身も教員として教壇に立ちます。研究の成果を生かしながら、持続可能な学校づくりに貢献していきたいと考えています。



4年次生
江崎 光

担当教員



教育事象を単なる評論で終わらせず、データや調査に基づいて専門的・実践的な視点から分析することを求めています。ICTや統計のスキルを駆使し、客観的な根拠を持って教育課題に向き合う姿勢を大切にしてほしいと思います。

黒上 晴夫 教授

AIが書いたコメントに、人は左右される？ 人間の危うさ、AIとの共存について考える

ネットニュースのコメント欄は、私たちの意見形成に少なからず影響を与えます。そこに、AIが生成したコメントが大量に紛れ込んでいる場合、私たちはそれを正しく区別し、情報を適切に判断できるでしょうか。この問いを検証するため、数百名の被験者を対象に、AI生成コメントと人間のコメントを読み比べてもらう実験を行いました。統計ソフトを用いた分析から見えてきたのは、文章だけでAIを見抜くことは難しい、また「AI作成」であることを開示されても信頼度は大きく下がらないといった予想外の結果です。一方で、AIの文章でも「専門家による監修」というお墨付きがつくと信用してしまう、人間の権威に対する弱さも見えてきました。ここまでの研究成果をもとに台湾での国際学会で発表も経験。今後は言語による違いや内容操作の影響へと研究を進展させ、AIと共存するより良いコミュニケーションのあり方を探究し続けます。



4年次生
茂木 奈々瀬

担当教員



社会学や心理学など異分野の視点を取り入れた学際的なアプローチを重視しています。「AIを使って何をするか」だけでなく、「そもそもなぜその問題が起こるのか」という根源的な問いを立て、データを基に問題を解き明かしましょう。

松下 光範 教授

生成AI

オリックス・バファローズの2軍戦を活性化。 「押し活」と「ツーリズム」から集客戦略を導き出す

プロ野球球団「オリックス・バファローズ」と連携し、2軍公式戦の観客動員数を増やすプロジェクトに取り組みました。球団からの今年の要望は「スポーツツーリズム」の視点を取り入れること。私たちは試合会場である高槻市内の球場に足を運び、来場者に声をかけて約300名分のアンケートを回収しました。得られたデータは統計ソフト「SPSS」で分析。手法については事前に学んでいましたが、実際の分析は想定通りにはいきません。粘り強く解析し、データとデータのわずかな「つながり」を手掛かりとして、「遠方から一人で観戦に来る女性が多い」という傾向を発見しました。私たちはここに「押し活」という視点を重ね、「重ね捺しスタンプラリー」や、オリジナル缶バッジを使った「ガチャガチャ」の設置を提案。現場のリアルな熱気に触れる中で、マーケティングの困難さとその魅力を実感しました。



担当教員



フィールドワーク(現場)での学びを大切にするゼミです。顧客調査や商品開発を実際に体験しながら、マーケティングの知識を頭と体で身につけていきます。自分の感性や感覚と論理的思考を用いて、商品やサービスを読み解き、その魅力や仕組みを分析していきます。

徳山 美津恵 教授



3年次生
堤 由里香

3年次生
森田 拓

3年次生
原田 真尋

なぜ人は映像で「恐怖」を感じる？ 理論と技術を磨き、心を揺さぶる映像をつくる

ゼミ活動の一環としてホラー映画を制作し、監督・撮影・編集の3役を担当しました。なぜ人は映像で恐怖するのか。その心理を探るために、既存作品をコマ送りで見直し、驚きを生む間の取り方や音響効果、不安をあおるライティングを徹底的に研究しました。この探究を支えてくれるのが、技術と理論の両面ともに充実した総合情報学部の環境です。研究室にはプロ仕様の高精細なカメラや編集ソフトが完備されており、また、CGプログラミングやグラフィックデザインといったデジタル領域の幅広い学びが、映像表現の幅を大きく広げてくれます。撮影場所との交渉など、作品そのものには表れない地道な手続きを含め、「現場」のリアルを経験しながら映像制作のノウハウを蓄積し、ゆくゆくはカンヌ国際映画祭での受賞をめざします。

担当教員



映像を「つくる」ことを軸として表現に挑戦するゼミです。作品は国内外で発表し実践的な経験を積むことができます。卒業生はクリエイティブ業界から一般企業まで幅広いフィールドで活躍しており、将来の可能性を広げたい学生に開かれた学びの場です。

長谷 海平 教授



3年次生
山口 怜真

映像制作

次世代ネットワーク

暗号化すると通信が遅くなる。
次世代ネットの「速さ」と「セキュリティ」の両立に挑む

インターネットの主流が「IPv4」からより高速な「IPv6」へと移行しつつあります。高速化するネットワーク環境下で、通信内容を暗号化して守る「IPsec」を導入すると、通信速度が低下してしまう現象が確認されています。「速さ」と「セキュリティ」の両立を阻む原因は何なのか。私は仮想マシンやコンテナ技術を用いてシミュレーション環境を構築し、その謎に挑んでいます。研究は見えない要因を追いかける地道な作業の連続です。「MTU（一回に送信できるデータの最大サイズ）」の設定をはじめ、無数にある条件を変えながら計測を繰り返し、「速度低下が起こる条件」と「起こらない条件」を一つひとつ検証した結果、ようやく特定の条件が見えてきました。通信インフラは今や社会のライフラインです。この研究が、快適さと安全を両立させるネットワークの安定運用の一助になればと考えています。

```

Connecting to host fd00::2, port 5201
5) Local fd00::2 port 34722 connected to fd00::3 port 5201
ID) Interval Transfer Bitrate Retr Cwnd
5) 0.00-1.00 sec 111 Mbytes 932 Mbits/sec 1296 95.9 Kbytes
5) 1.00-2.00 sec 321 Mbytes 3.02 Gbits/sec 1047 59.4 Kbytes
5) 2.00-3.00 sec 95.2 Mbytes 799 Mbits/sec 875 114 Kbytes
5) 3.00-4.00 sec 78.6 Mbytes 639 Mbits/sec 714 136 Kbytes
5) 4.00-5.00 sec 78.9 Mbytes 637 Mbits/sec 349 64.8 Kbytes
5) 5.00-6.00 sec 89.1 Mbytes 748 Mbits/sec 368 432 Kbytes
5) 6.00-7.00 sec 118 Mbytes 994 Mbits/sec 585 114 Kbytes
5) 7.00-8.00 sec 86.4 Mbytes 725 Mbits/sec 119 419 Kbytes
5) 8.00-9.00 sec 69.9 Mbytes 566 Mbits/sec 482 387 Kbytes
5) 9.00-10.00 sec 56.8 Mbytes 476 Mbits/sec 258 62.6 Kbytes
ID) Interval Transfer Bitrate Retr
5) 0.00-10.00 sec 500 Mbytes 755 Mbits/sec 5994 sender
5) 0.00-10.00 sec 897 Mbytes 732 Mbits/sec receiver
    
```



4年次生
林 佑樹

担当教員



動画配信やオンライン決済の安全性は、暗号・認証、そして適切なプロトコル設計によって支えられています。卒業研究では、それらに潜む脆弱性や攻撃手法を分析し、より安全で実用性の高い方式の実現をめざします。

桑門 秀典 教授

膨大な特許データを分析し、
「モノづくり大国」復活の法則を導き出す



4年次生
中村 輝星



かつて世界を席巻した日本の電機メーカーが、再び競争力を取り戻すにはどうすればよいか。上場企業136社、数万件に及ぶ特許データを分析し、その「勝ち筋」を探究しました。特許取得の目的を、技術の用途を広げる「探索」と、技術を深める「深化」のフェーズで分析。「探索」フェーズでは多様な企業や研究機関との連携が、カギになることがわかりました。収集したデータの一つひとつを確認・修正していく「名寄せ」をはじめ、データの精度を高めるプロセスには特に力を入れました。また、電機メーカー社員と共同で研究するプロセスでは、実務経験に基づいたリアルな視点や妥協を許さない姿勢、細やかな指示の出し方に至るまで、多くのことを学びました。データに基づき産業再生への道筋を示すこの産学連携型の研究は、日本のモノづくりの未来に貢献できると信じています。

担当教員



ゼミでは、AI等の情報技術の進歩を背景にした、企業の戦略や組織間のつながり等の国際的な変化を、さまざまなデータに基づいて分析しています。

伊佐田 文彦 教授

感情×インタラクション

タイピングの内容や打ち方を分析すると、
自分の感情が見えてくる？



博士課程前期課程
1年次生
ブリリアル アンドレア クレア
指導教授
米澤 朋子 教授

「この日はネガティブな感情が強かった」といった形で、日常のタイピング行動から、自分の感情を客観的に振り返るシステムを検討しています。ユーザがタイピング入力した際の感情の動きを、表示された文字の色やサイズで表現し記録する「タイピングと感情表出」です。入力された単語や文のつながりを、即時にポジティブ/ネガティブに分けて表示しつつ、キーボードを打つ速度や強さも合わせて評価。アウトプットを多角的に測定することで、ユーザの感情を総合的に推測できる点に独自性をもたせています。塾講師としてプログラミングを教える中で、多くの生徒が我流でタイピングしていることに着目して、学部時代からタッチタイピングに関する研究を続けています。卒業後も情報技術を活用するクリエイティブなエンジニアとして、人々の暮らしの質を高めることに貢献していくことが目標です。



膨大な会議録を「宝の山」に変える。
デジタルの力で政治を「自分ごと」に

地方議会は私たちの生活に直結する重要な場です。しかし、公開されている会議録には、議会の内容が淡々と記述されるだけで、ページ数も膨大。一般市民が理解するにはハードルが高いのが現状です。この会議録を誰もが理解し、活用できる形に変えることが私の研究の目的です。具体的には、各地の議会会議録を収集し、誰がいつ・どの議題で発言したかという「属性情報」と紐づけた「地方議会データベース」を構築しています。さらに、このデータを基盤にしたAI検索システムも開発中。生成AIは「もっともらしい嘘をつく(ハルシネーション)」という課題がありますが、信頼できる議会データのみを参照させることで、これを防ぐことができます。例えば「子育て支援についてどんな議論が行われた?」とチャットで問えば、AIが即座に教えてくれる。そんなシステムによって市民と行政の距離を縮め、政治を「自分ごと」として感じてもらうことが目標です。



博士課程前期課程
1年次生
柚木 輝
指導教授
名取 良太 教授



データベース×地方議会

メディア情報系を中心に修得

広告営業分野で活躍 株式会社エイエイピー 営業担当



2024年3月卒業
合田 祥三さん

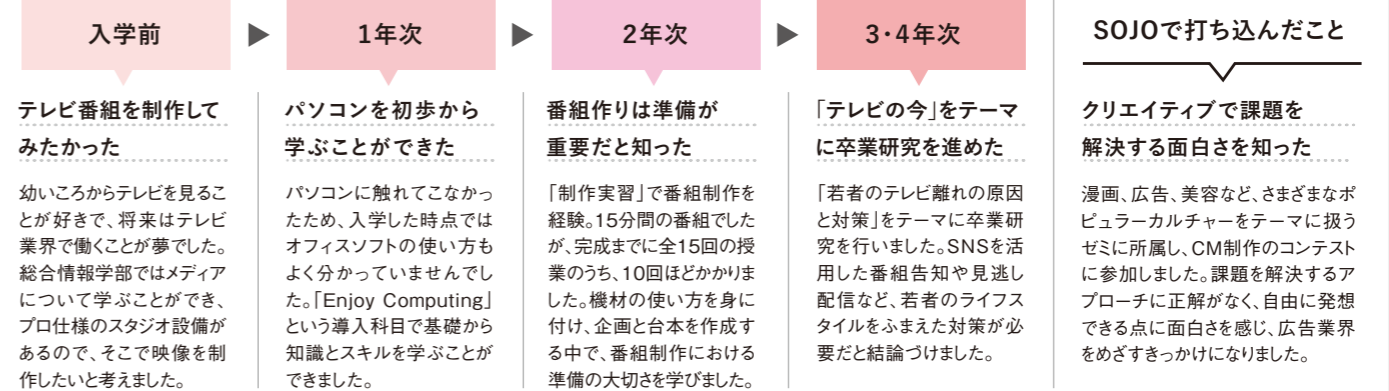
現在の仕事 >>> **多様な媒体・イベントを通して課題解決をサポートしています。**

総合広告会社で、さまざまな業種、業態の案件に関わっています。例えば、地産地消を促進するためのスタンプラリー企画や、自治体の職員募集のパンフレット制作、ショート動画やポスターの制作、観光業のインバウンド支援など、幅広い領域で取引先の課題解決に取り組んでいます。お客さまとの対話の中で見えてくる課題や要望を、制作チームと共有した上で企画や表現を考えることを、複数の案件で同時進行。解決策を提案した際にお客さまから「これでいきましょう!」と言ってもらい、実際に形になった時は非常にうれしかったです。私はラジオを聴くことが趣味なので、将来的にはラジオ番組の公開収録や、ノベルティグッズ作成などの仕事に携わりたいと思っています。



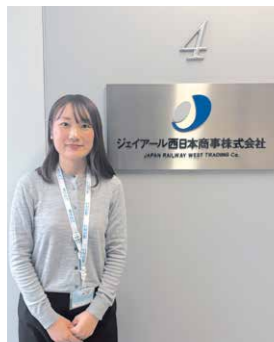
先輩からのメッセージ **総合情報学部で学べる領域は多彩に広がっています。やりたいことがまだ決まっていなくても、いろいろと学んだ上で自分の進む方向を選べますよ。**

在学中の学び



社会情報システム系を中心に修得

交通インフラ分野で活躍 ジェイアール西日本商事株式会社 資材本部



2024年3月卒業
廣田 明日香さん

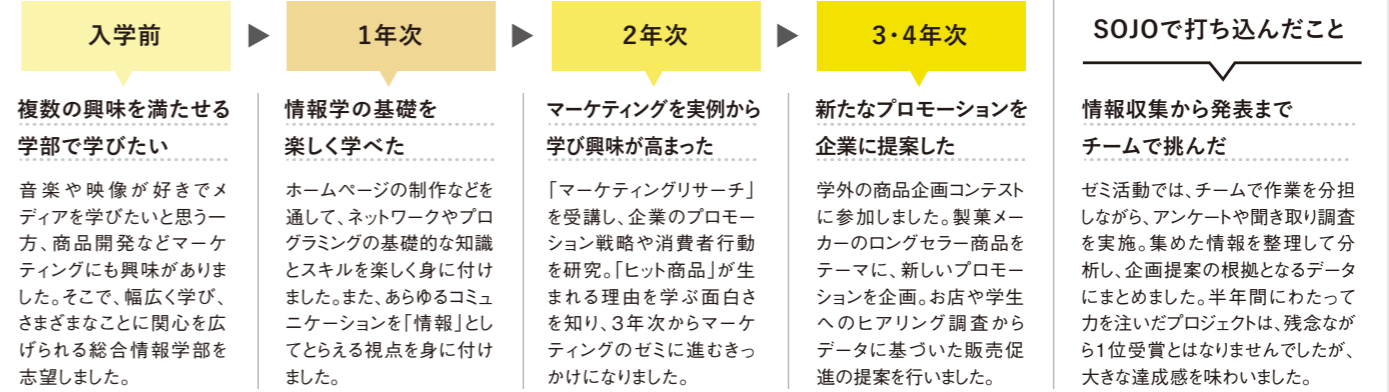
現在の仕事 >>> **鉄道の安定的な運行に貢献しています。**

鉄道の車輪や踏切、塗料などの資材調達に携わっています。必要な資材を納期に間に合うように調達することで、鉄道の安全と安定的な運行を支えられることがやりがいです。日々の業務においては、要求された資材の詳細を調べ、自分で理解して発注するようにしており、在学中に培った、情報を収集し整理する力が役立っていると思います。また、専門性の高い情報については関係各所に問い合わせることも必要になるため、チームで動いたゼミ活動の経験が、現在のコミュニケーションに生きていると感じます。他部署では、グッズ開発や地域共生も行っており、鉄道以外の分野にも力を入れています。今後はより大きな資材を担当できるように知識と経験を増やすことが目標です。



先輩からのメッセージ **私は在学中にカンボジアの子どもたちの教育支援活動にも参加して視野を広げました。皆さんも何にでも興味をもち、挑戦してみてください!**

在学中の学び



コンピューティング系を中心に修得

セキュリティ分野で活躍 株式会社クレディセゾン 基盤統括部



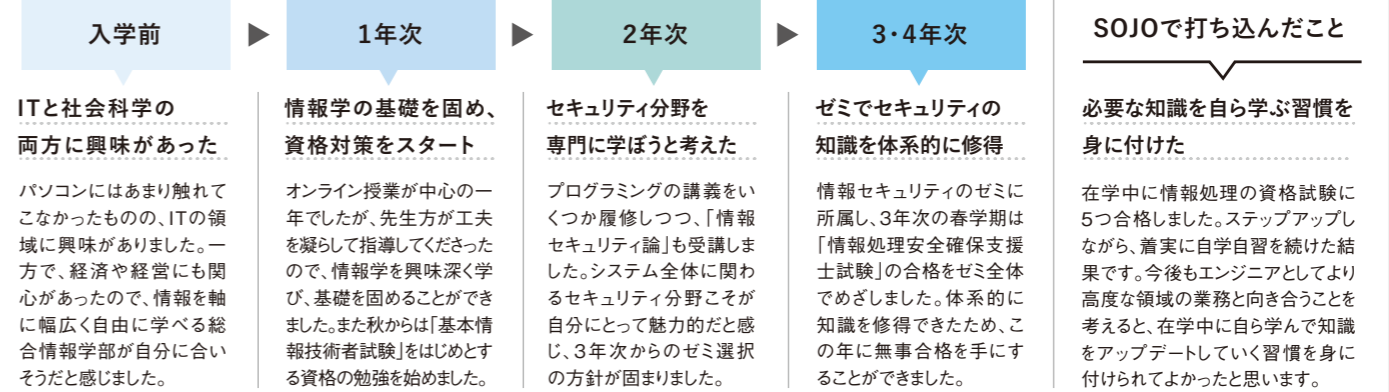
2024年3月卒業
大西 遥晴さん

現在の仕事 >>> **金融インフラ企業のセキュリティ強化に取り組んでいます。**

全社のセキュリティ対策強化プロジェクトに参加し、ITインフラ領域の改革をめざしてさまざまな業務を行っています。社内の端末やネットワークなどの更新に向けたヒアリングと課題管理、安全な業務フローの実現に向けた要件調整などが主な内容です。端末を入れ替える場合、単に交換するだけでは済まない場合が多々あります。例えば、古いソフトウェアが動かなくなることや、セキュリティ向上のためにルールとして利用を禁止することもあります。また、端末を利用する社員の業務フロー自体の最適化が必要なケースも出てきます。もちろんセキュリティ強化がプロジェクトの目標ですが、金融という重要インフラに関わる企業として、いかに業務に影響を発生させずに進められるかという点が、事業会社のセキュリティエンジニアとしての面白さだと感じます。今後はさらに高いレベルの業務に携われるように、国際的なセキュリティ資格の取得と、情報処理技術者試験の高度区分を完全制覇したいと考えています。

先輩からのメッセージ **自由度が高い学部なので、就職後に役立つ知識を身に付けると同時に、少しでも興味がある分野はぜひ積極的に履修することをおすすめします。**

在学中の学び



自分自身で学び方を選び、興味の幅を広げ、知識を深めることができます。

文系・理系の枠を超えて、幅広い分野を網羅する情報学。その中で学生一人一人が自分に合った学び方を実現できるように、総合情報学部では〈3つの系〉を履修の指針としています。この系は、どれか一つを選んで学ぶものではありません。自分の興味はどこにあるのか、何にスポットをあてて学んでいくのか、そのために必要な領域はどの組み合わせなのか。自分の可能性を発見し、深め、関連付けていくそれぞれの学びを、系という指針がサポートします。



データサイエンス教育プログラム
データの収集・統計的分析・可視化やプログラミングなど、データサイエンティストに求められる知識と技能を、系を横断する形で学びます。

- …数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)
- …データサイエンス教育プログラム(応用展開レベル)

データサイエンス教育プログラムについて

総合情報学部では、2種類の教育プログラムを実施しています。1つは、文部科学省から認定された「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」、もう1つは学部独自に実施している「データサイエンス教育プログラム(応用展開レベル)」です。「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」は基礎的な学び、「データサイエンス教育プログラム(応用展開レベル)」は総合的な学びと位置付けられています。各プログラムを修了された方は、成績証明書に「(プログラム名称)修了」と記載されます。

数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)

1～2年次配当の基幹科目と実習科目で構成され、基礎的な数理的素養、データサイエンス、データエンジニアリング、AIに関する基礎知識および実践的能力を体系的に学ぶ。

データサイエンス教育プログラム(応用展開レベル)

2～3年次配当の展開科目と実習科目で構成され、3つの系を柱とする専門領域において、データやAIを活用する理論および実践的スキルを学ぶ。

4年間の学び

1年次

大学での学び方を実践的に身に付ける。

春学期は、演習型・実習型の導入科目を通して大学での学びについて理解するとともに、文理融合型情報学の基礎を学ぶことで、専門分野への興味を高めます。コンピューティングの基礎も、実践的に学んでいきます。秋学期になると展開科目、実習科目を選択して、情報学の多様な分野の入口に立ちます。

2年次

専門的な知識とスキルを自ら選んで学ぶ。

〈3つの系〉を意識しながら、複数の分野から科目を選んで興味のありかを探ることも、1つの系をフォーカスして学ぶことも可能です。1年次に身に付けた基礎的なリテラシー(知識と能力)を生かし、作品制作やデータ分析、新たなプログラミング言語など、より高度なスキル修得にチャレンジします。

3年次

ゼミでの研究活動を深めるために、より広く深い知識を修得する。

ゼミに所属して2年間の研究活動がスタート。まずはゼミ全体の研究テーマを学びながら、自分の研究テーマを絞り込んでいきます。メディア、経営、情報処理などの多様なテーマを扱う展開科目を、自分の研究テーマに合わせて選択し、複数の「系」にまたがって横断的、複合的に学ぶこともできます。

4年次

研究テーマを卒業論文、卒業作品としてまとめる。

文献の輪読、ディスカッション、フィールドワーク、システムの開発など、手法は研究テーマによって異なりますが、個人もしくはグループで研究を進めていきます。3・4年次生、大学院生合同でゼミを行い、自分の研究テーマに合わせて選択し、必要なスキルを指導することも。4年間の学びの集大成として、最終的に卒業論文や卒業作品をまとめます。

導入教育

1年次

大学では、自らが学ぶ姿勢をもつことが何より大切です。しかし、入学後に高校までと大きく異なる学習環境に戸惑う学生は少なくありません。そのため、総合情報学部では、大学での学びにスムーズに適應できるよう、導入教育に力を注いでいます。

演習型科目「導入ゼミ」

少人数の演習形式で、レポート作成やプレゼンテーションの要領、図書館やデータベースの利用法などのスタディスキルを身に付け、受動型から発信型へと意識を切り替えていきます。



実習型科目「Enjoy Computing」

デジタル画像の編集やプログラミングなどを楽しみながら学ぶことで、情報学の可能性などを実感し、専門分野への興味を自然に高めています。



総合情報学部で取得できる資格

■ 教員免許 高等学校一種 情報・数学・公民 3種類の教員免許を取得することが可能です。

■ 社会調査士 社会調査協会が認定する資格で、社会調査に関する基礎的な知識と技能、倫理観をもつ人材に与えられる資格です。所定の単位を修得し、申請することで取得可能です。

総合情報学部についてもっと詳しく知りたい! / ホームページで詳細をCheck!

教員紹介



施設紹介



※上記以外に共通教養科目、外国語科目、教職・その他の科目があります。

課外活動

高槻キャンパスには、総合情報学部生を中心メンバーとする公認サークルが13団体活動しています。
※総合情報学部生は、主に千里山キャンパスで活動する関西大学のクラブ(体育会・文化会)やサークルに参加することもできます。

Club / Circle

関西大学 プログラミング団体 「Versear」

高槻キャンパスのバス予約システムを開発。
「誰かの役に立つ」実践的スキルを磨けます。

70名以上のメンバーがプログラミング技術を磨き、Webサービスやスマホアプリ、ゲームなど、個人やチームで好きなものを作っています。先輩たちからコーディングの基礎や各ツールの使い方を教えてもらえる点が特徴。「エンジニアになりたい」「就活に役立てたい」など、さまざまな思いをもつメンバーが集まり、講義とはまた異なる実践的なスキルを磨きます。

利便性向上のため試験的に運行しているシャトルバスの予約システムも、私たちがゼロから開発したもの。運用も行って、友人たちも日常的に使っています。「自分たちの作ったものが誰かの役に立つ」。そんなエンジニアならではの感動や達成感を、学生時代から味わえる団体です。



主な活動
スポット
リサーチ・commons

PCやサーバが設置されているフロア。オープンスペースなので、他のサークルとも交流できます。



関西大学 アカペラサークル 「VOCALISE」

必要なのは「自分の声」だけ。
ミスは気にせず音楽を楽しもう!

アカペラは、楽器が演奏できない人でも気軽に取り組める音楽です。歌ってみたい曲を、専用アプリなどを使ってリードボーカルやコーラス、ボイスパーカッションといったパートに分割。楽譜をもとに各自が担当パートを練習し、バンド全体で合わせて完成度を高めていきます。練習は主に放課後に行い、キャンパス内の「TEホール」で年4回開催する定期ライブで披露します。といってもサークル内のライブなので、ミスは気にすることなく、安心して歌うことができます。

学外でもさまざまなライブイベントに出演するほか、小学生にアカペラを教える地域活動にも参加。先輩・後輩の壁がなく、履修や進路の相談を気軽にできる「縦のつながり」も自慢の一つです。



主な活動
スポット
TEホール

定期ライブを行う情報メディアホール。背景のスクリーンに映像を投影して演出することもできます。



関西大学 VTuber制作団体 「Virtual Dive LAB.」

それぞれの「得意」を組み合わせ、
社会とつながるクリエイター集団。

VTuberやヴァーチャルライブ、モーションキャプチャ・VR・ARなど、さまざまなデジタルコンテンツを制作する団体です。本格的なモーションキャプチャを使って生み出したVTuber「夢影ドネ」のプロデュースも行っています。最大の特徴はイラスト、3Dモデリング、プログラミング、そしてダンスまで、それぞれのメンバーが自分の「得意」を持ち寄って一つの作品を作り上げること。中には自力でAI音声合成ソフトを開発してしまうすぐ腕のメンバーも所属しています。

近年は制作活動にとどまらず、大学の広報動画制作や、自治体とのコラボプロジェクトも進行中。部員対象の講習会なども行っているので初心者でも気軽に参加できる団体です。



主な活動
スポット
C棟(スタジオ棟)



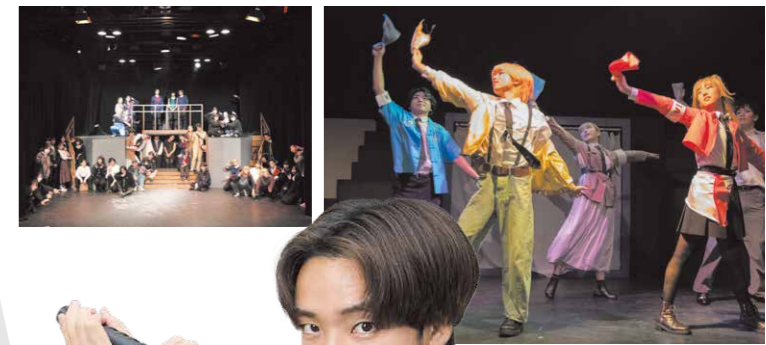
総合情報学部にはスタジオやハイスペックなPCが揃っています。私たちがモーション収録やバーチャルライブの際に許可を得て利用しています。

関西大学 演劇サークル 「劇団万絵巻」

伝統の「巨大舞台」×最新機材!
初心者から主役をめざせる演劇サークル。

「劇団万絵巻」は、約60名のメンバーからなる高槻キャンパス唯一の演劇サークルです。毎年6回の公演を開催し、脚本・演出、照明、音響、衣装に至るまで、すべてを自分たちの手で作り上げます。特に自慢したいのは、代々受け継がれてきた舞台装置。高さ160cm以上の大きな装置が舞台上に高低差を生み出し、ダイナミックな物語の世界に観客を引き込みます。また、総合情報学部が所有するプロ仕様の機材やソフトを使用して、ハイレベルな映像記録や広報ができるのもメリットです。

充実した環境に恵まれています。実はメンバーのほとんどは初心者からのスタート。「何かを創りたい」という熱い思いをもった仲間が集まり、協力しながら一つの作品を完成させる瞬間は、最高の思い出になります!



主な活動
スポット
S棟(スチューデントハウス)

活動の拠点として、授業のない時間に集まるサークル棟。衣装や小道具なども保管しています。



進路

CAREER

大学院

GRADUATE SCHOOL

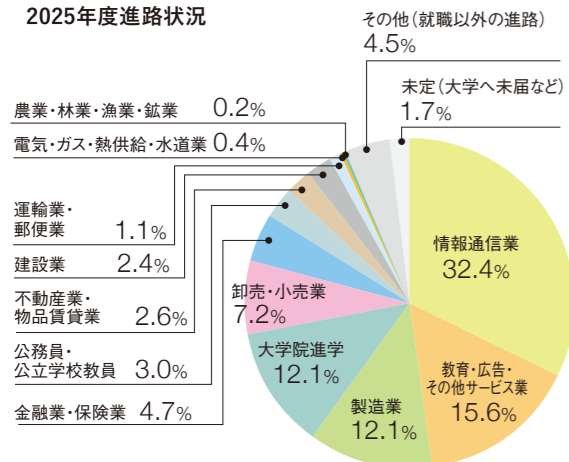
情報通信業やサービス業で活躍する卒業生の多い総合情報学部。

社会のDX(Digital Transformation)を推進する担い手として活躍しています。大学院に進学する人も増えています。

学部生



2025年度進路状況



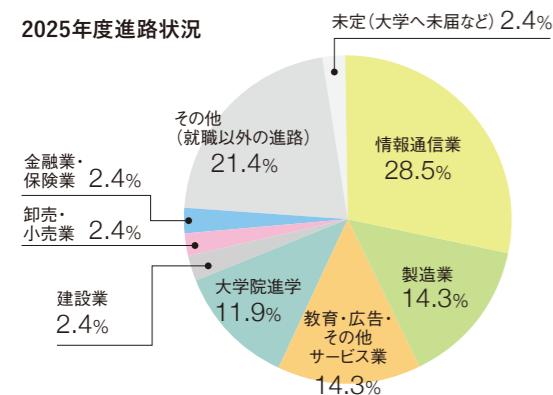
進路の一例(2025年度実績)

情報通信業	アイテック阪急阪神、アドソル日進、アビームシステムズ、伊藤忠テクノソリューションズ、インターネットイニシアティブ、インテック、内田洋行、SRA、SCSK、NECフィールディング、NSD、NTTデータ関西、NTTドコモ、NTTドコモソリューションズ、NTT西日本、オーゼス総研、オービック、オブテージ、キャノンITソリューションズ、コムチュア、JSOL、ジェイテック、ジャステック、Sky、ソフトウェア・サービス、ソフトバンク、TKC、東芝デジタルエンジニアリング、日本アイ・ビー・エム、日本総合研究所、日本ビジネスシステムズ、パナソニックデジタル、日立産業制御ソリューションズ、日立システムズ、日立ソリューションズ、BIPROGY、富士通、みずほリサーチ&テクノロジーズ、三菱電機ソフトウェア、三菱電機デジタルイノベーション、U-NEXT HOLDINGS、讀賣テレビ放送、楽天グループ など
教育・広告・その他サービス業	AOI Pro.、アクセントチュア、デロイトトーマツ、東武トップツアーズ、東北新社、船井総合研究所、ペイカレント、マイナビ など
製造業	アイリスオーヤマ、アサヒビール、沖電気工業、オムロン、カシオ計算機、カナデビア、京セラドキュメントソリューションズ、クボタ、グローリー、SCREENホールディングス、ダイキン工業、ダイハツ工業、タカラスタンダード、デンソー、東京エレクトロン、東レエンジニアリング、TOPPAN、トヨタ車体、ニチアス、日本電気(NEC)、パナソニックグループ、バンダイナムコエンターテインメント、フジシール、富士電機、三菱自動車工業、三菱電機ビルソリューションズ、ミネベアアミツミ、村田製作所、山崎製パン、ヤマハ発動機、ヨドコウ など
大学院進学	関西大学大学院、立命館大学大学院、大阪大学大学院、大阪学院大学大学院、大阪公立大学大学院、奈良教育大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、広島大学大学院 など
卸売・小売業	伊藤忠商事、因幡電機産業、花王グループカスタマーマーケティング、キャノンマーケティングジャパン、ダイワボウ情報システム、ニトリ、阪急阪神百貨店、三谷商事、山善 など
金融業・保険業	アフラック生命保険、関西みらい銀行、北おおさか信用金庫、損害保険ジャパン、日本政策金融公庫、日本生命保険、三井住友カード、三井住友銀行、三井住友信託銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、明治安田生命保険 など
公務員・公立学校教員	国家公務員一般職、国税専門官、京都府職員、大阪府職員、京都市職員、京都府教員、茨木市消防吏員 など
不動産業・物品賃貸業	長谷工コミュニティ など
建設業	一条工務店、きんでん、クリナップ、積水ハウス、日本コムシス など
運輸業・郵便業	近畿日本鉄道、全日本空輸(ANA) など
電気・ガス・熱供給・水道業	大阪ガス、関西電力 など

大学院生



2025年度進路状況



進路の一例(2025年度実績)

情報通信業	SCSK、NTT東日本、カブコン、コーエーテクモホールディングス、日本アイ・ビー・エム、富士通 など
製造業	コニシ、シャープ、TOPPAN、パナソニックグループ、三菱電機、横河電機 など
大学院進学	関西大学大学院、立命館大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学 など
建設業	鹿島建設 など
金融業・保険業	太陽生命保険 など

▶ 学部卒業後の進路：大学院

大学院とは？

学部での卒業研究を通して、「研究って面白い」「もっと深く探究したい」と感じた人のために、総合情報学研究科(大学院)があります。大学院では、講義を受けて勉強するだけでなく、自分で研究テーマを設定し、指導教員のもとで専門的な研究を進めます。情報学の最前線に触れながら、より高度な知識と研究力を身につけることができます。

総合情報学部の卒業生のうち、毎年約30名が本研究科(前期課程)へ進学しています。修了後の進路としては、専門知識を活かして企業や公的機関に就職する人や、さらに研究を深めるため後期課程へ進学する人もいます。また、社会人として在職しながら大学院に進学し、自身のスキルアップをめざす人もいます。

研究室のようす

米澤研究室では、生きているようなロボットの心と体や、五感と心を刺激するVRなど、人間を取り巻く人工的なシステムの「温かみ」を研究しています。総合情報学部から進学した大学院生だけでなく、他大学や海外から来た大学院生が、ホワイトボード前で議論したり、自分の信念のもとに工夫を凝らし、工作やプログラミングや実験をしています。談笑してご飯を食べたり、突然筋トレをしたり、スキーに行ったりと、楽しく時にハードに過ごしています。学部卒で就職するという「枠」から踏み出して、自分の「好き」を探究したい人が大学院修士課程(博士前期課程)に進学しており、さらにその道のプロフェッショナルを目指して博士課程(博士後期課程)に進学する人もいます!修了生は「好き」とスキルを活かした専門的な研究、開発、教育の分野で世の中をリードする活躍を見せています。



総合情報学研究科の特徴

総合情報学研究科では、「プロジェクト制」を採用しています。これは、主指導教員だけでなく、複数の教員がチームとなって学生の研究をサポートする仕組みです。さまざまな専門分野の視点から指導を受けられるため、研究を多角的に深めることができます。また、海外からの留学生や社会人大学院生も在籍しており、多様な背景をもつ学生とともに学ぶ、国際色豊かな環境も特徴です。国内外の学会で研究発表を行う機会もあり、学外の研究者や社会人との交流を通して、大学の中だけで完結しない、社会とつながる研究環境が整っています。

総合情報学研究科

情報のスペシャリスト・パイオニア養成を目標に展開する実践的なカリキュラムと画期的な教育システムが着実な研究成果に結実します。

前期課程は高度な専門知識を有する職業人「情報スペシャリスト」の養成を目的とし、「社会情報学専攻」と「知識情報学専攻」の2専攻を設置しています。カリキュラムは情報化社会や先端技術など、最新の課題について指導教員と共同で研究する独創的なスタイルを採用しています。また、後期課程は急激に拡大発展しつつある情報分野における未踏の領域に挑戦する人材「情報パイオニア」の養成を目的とし、文理総合の「総合情報学専攻」を設置しています。

情報メディア環境と社会や人間行動などとの関係を学際的に研究する社会情報学専攻

情報メディア・システムとその発展が、社会や人間行動の変化とどう関わるのかを学際的に研究しています。特に「教育」「コミュニケーション」「産業」「公共領域」という4つの分野を中心に、情報メディア環境の整備とシステムの構築をめざせる実践的教育を実施。多様な分野で指導的な役割を果たす「情報スペシャリスト」を養成します。

新しい情報環境と社会システムの構築を追究する知識情報学専攻

「知識情報学」とは、情報処理システムの高度な利用を目的に、新しい情報環境と社会システムを模索する学問です。本専攻では人間の認知能力に着目し、高度情報化社会に対応する、より使いやすい情報処理システムの構築を研究。先端的な技術と幅広い視点をもった技術系の「情報スペシャリスト」を養成します。

未踏の領域を切り拓いていく情報パイオニアの養成をめざす総合情報学専攻

博士課程後期課程では、次代に求められる新しい情報環境の創出に向けて、文系と理系の分野にまたがる文理総合の1専攻を設置。「高度情報システム」などの最先端のテーマを幅広くカバーする5つの領域を中心に研究し、急激に発展・拡大しつつある情報分野を開拓する「情報パイオニア」を養成します。